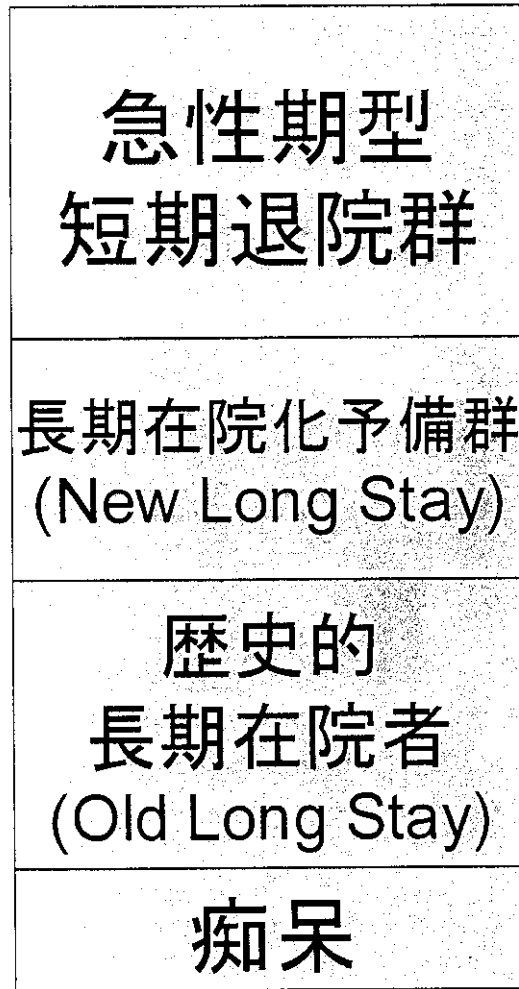


# 精神病床の現状



特定入院料(平成15年9月現在:注)

精神科救急入院料(463床)

児童・思春期精神科入院医療管理加算(561床)

精神科急性期治療病棟入院料(5728床)

精神療養病棟入院料(76047床)

【老人性痴呆専門病床:28953床】

- 老人性痴呆疾患治療病棟入院料(9879床)
- 重度痴呆患者入院治療料(1882床)
- 老人性痴呆疾患療養病棟入院料(医療保険12777床)(介護保険4415床)

精神病棟入院基本料

1 (2:1)

∩

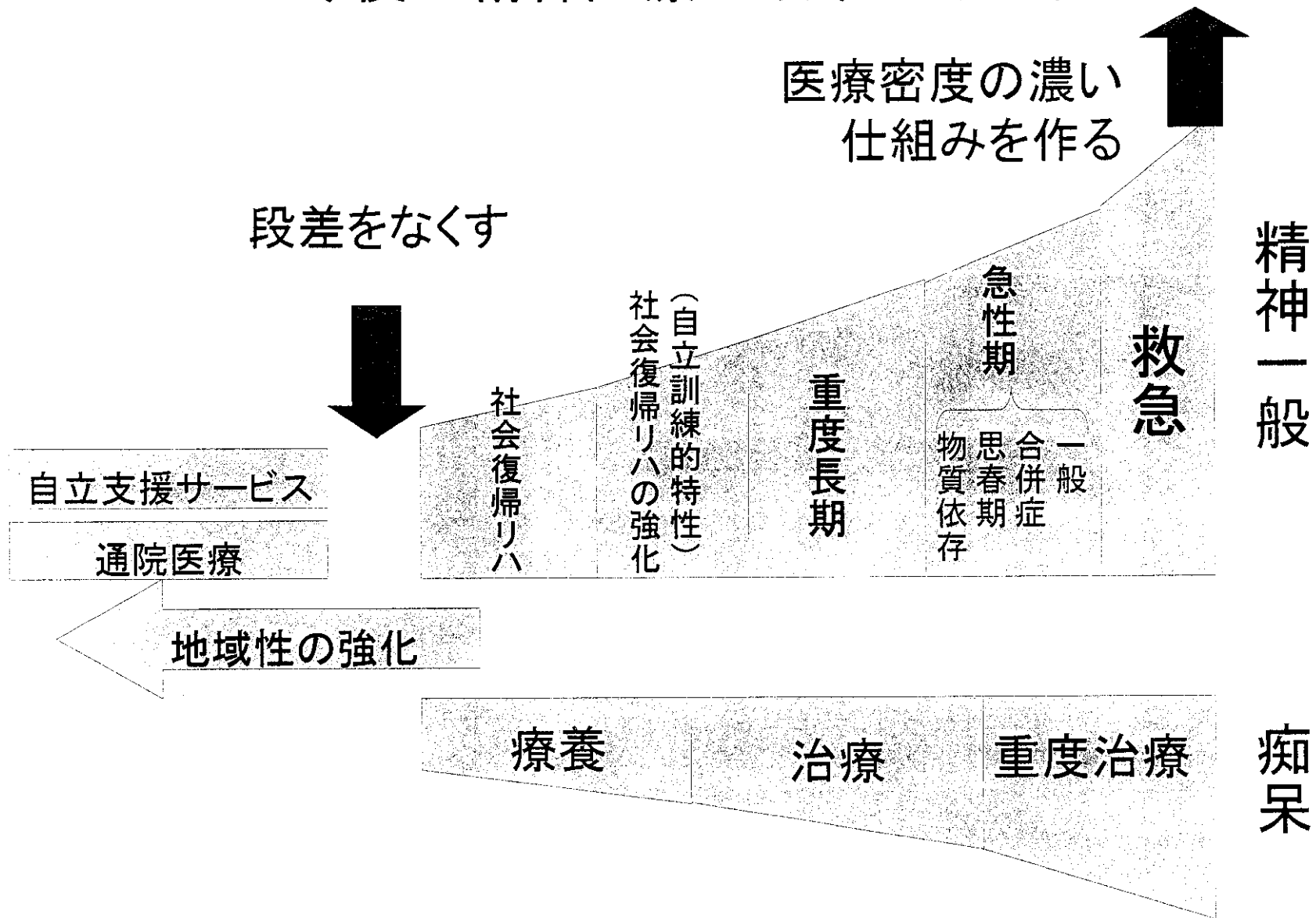
7 (6:1)

111,752床 ←→ 242,591床

合計354,343床(平成15年7月)

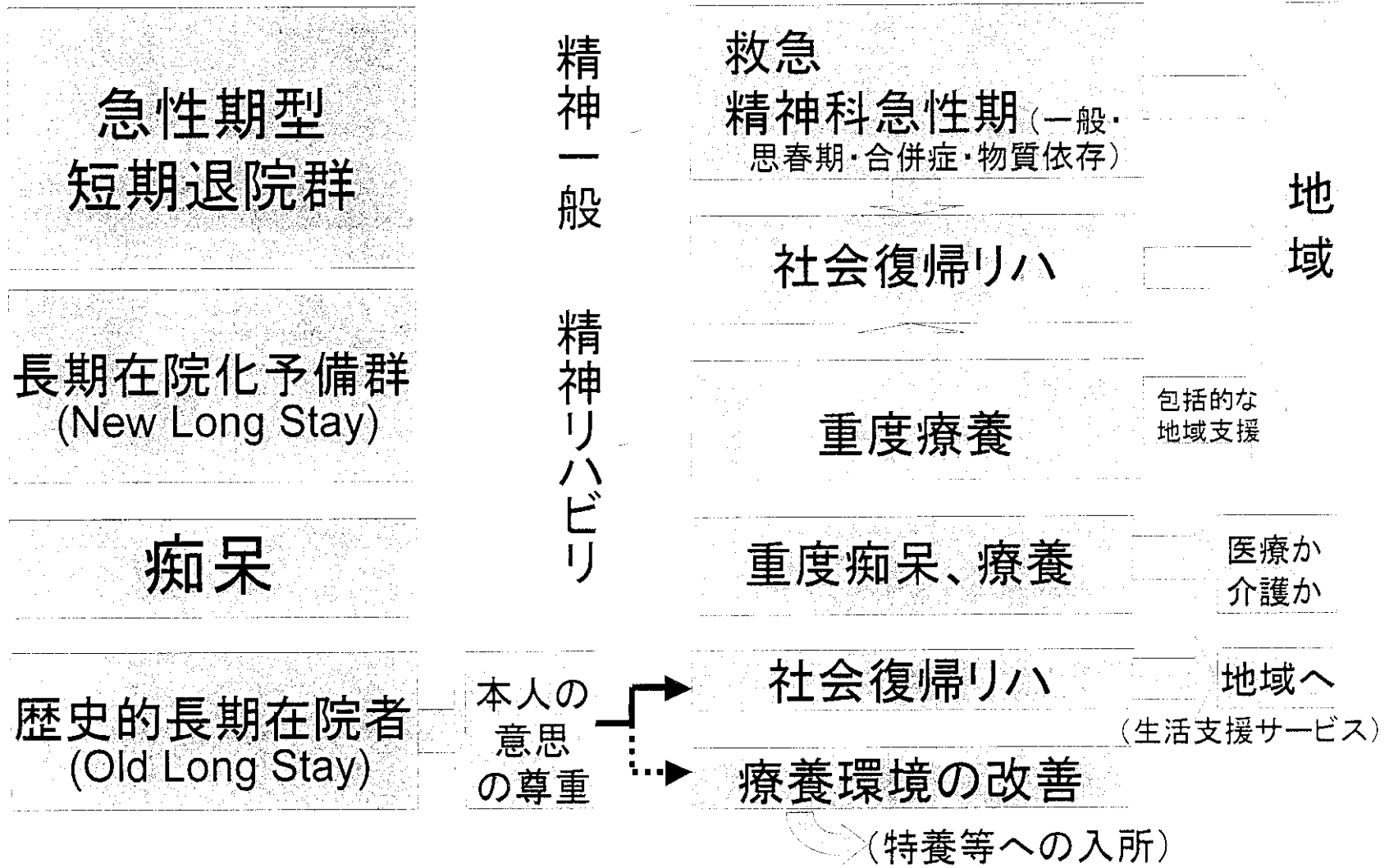
注:北海道の特定入院料取得病床数は平成14年度のもの

# 今後の精神医療の政策的方向性



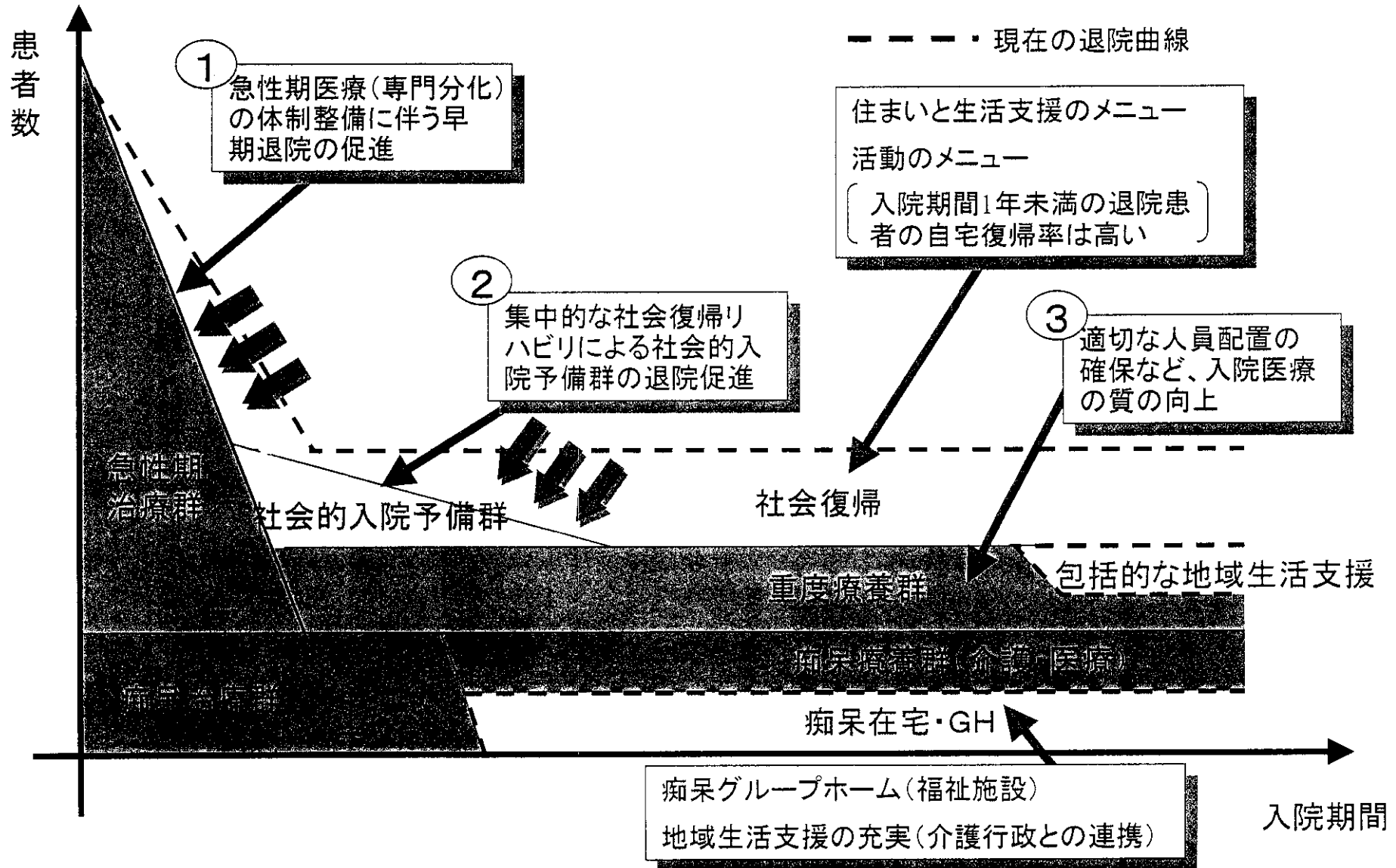
精神病床等に関する検討会(第2回)伊藤弘人参考人発表資料より

# 今後の病床分化の方向性



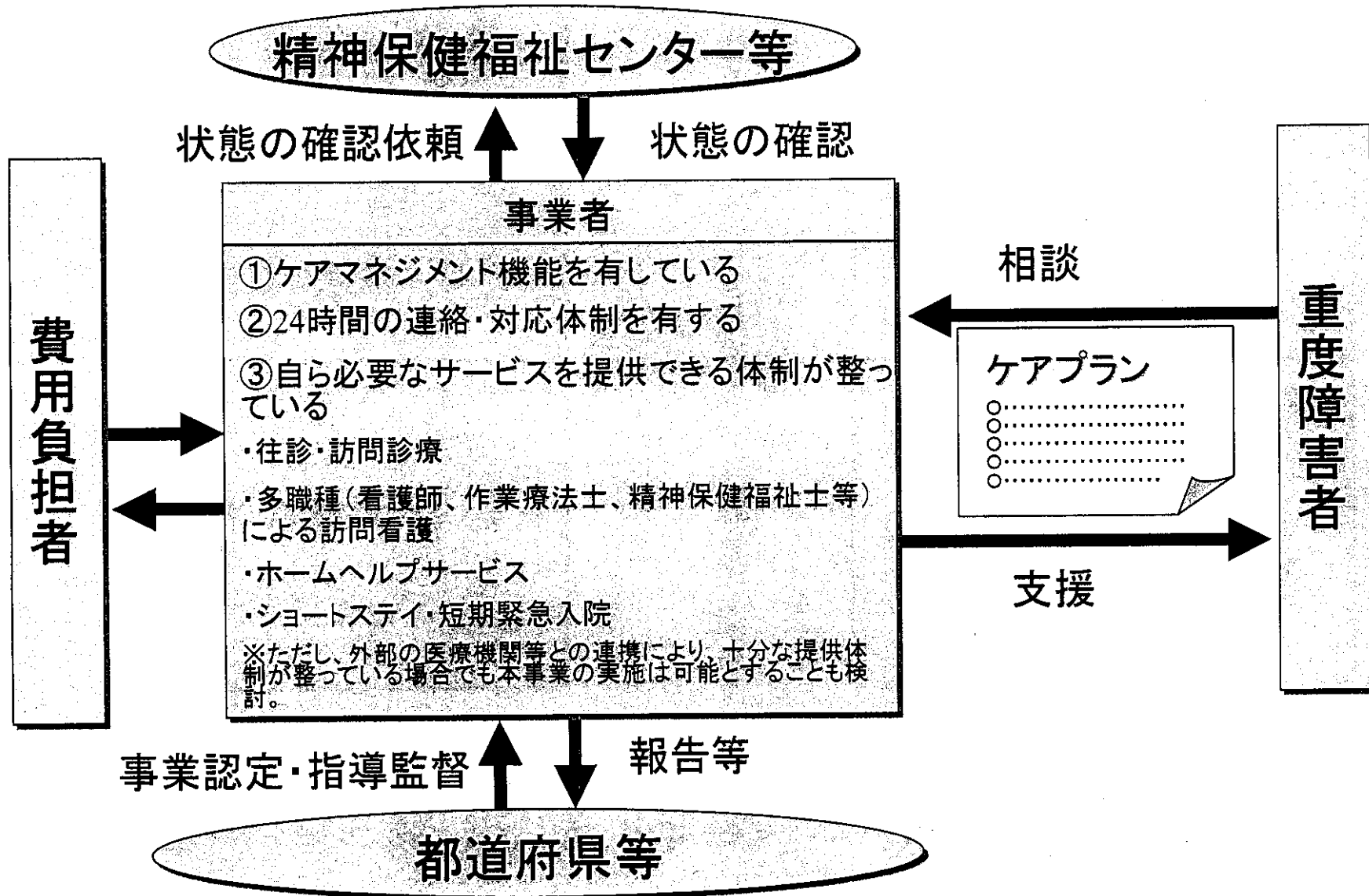
精神病床等に関する検討会(第2回伊藤弘人参考人発表資料より)

# 病床の機能分化のイメージ



① ② ③ は、病棟・ユニット単位で分化の促進及び評価を進めていく。

# 包括的に地域生活を支える仕組み



# 現在の長期入院群の将来イメージ

